

各 位

2026年2月27日
株式会社インプレス

Google スプレッドシートが使いやすくなる「仕組み」を作れる！『Google スプレッドシート踏み込み活用術』を2月27日（金）に発売

インプレスグループで IT 関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、表計算ソフト「Google スプレッドシート」を、実際のビジネス現場でトラブルなく使いこなすためのノウハウや、効率的に運用するための操作方法を解説した書籍『Google スプレッドシート踏み込み活用術（できるビジネス）』を2026年2月27日（金）に発売いたします。



■「現場の悩み」を知り尽くした導入支援のプロが、スプレッドシートの「正解」を解説

Google スプレッドシート（以下、スプレッドシート）は Google アカウントを持つユーザーであれば無料でも利用できる表計算ソフトです。手軽に導入できる反面、ビジネス現場では「Excel と同じ感覚で使ってしまう、うまく活用できない」「共同編集時に数式が壊れたり、他の人のフィルタで作業が妨げられたりする」といったトラブルや悩みも起こりがちです。

本書は、こうした悩みを解決し、ユーザーがスプレッドシートを「業務を支える運用の道具として活用できる」ことを目指して企画されました。著者は、さまざまな企業で Google Workspace の導入・活用支援を行ってきた株式会社 Tekuru の武田雅人氏と山縣清司氏。企業の現場で実際に発生している課題を知り尽くしたプロフェッショナルならではの視点で、実務に即した解決策や運用ノウハウを体系化しています。

■「共同編集」が得意なツールに効く、「仕組み」作りに役立つワザを厳選

本書の最大の特徴は、スプレッドシートを単なる表計算ソフトとしてではなく、「クラウド上で複数人が協力して作り上げる運用の道具」として捉えている点です。Excel が得意とする「個人での作り込み」とは異なる、クラウド上で複数人が同時に編集しても破綻しない「壊れにくいファイル」の作成手法に重点を置いています。

具体的には、入力ミスや表記揺れを防ぐ「入力規則」の活用、他の人の作業画面を妨げずにデータを閲覧する「フィルタ表示」、誤操作から重要な数式を守る「保護」や「通知」など、標準機能を組み合わせた実用的なテクニックを紹介しています。これらを「仕組み」としてファイルに組み込むことで、データの整合性を保ちながら、管理者のメンテナンス工数を大幅に削減することが可能です。ファイルの作成から共有設定、関数の応用、運用ルール策定まで、実務ですぐに役立つノウハウがまとまっています。

■本書に収録しているワザの例

- ・ファイルのコピー方法は用途に応じて使い分ける
- ・先頭の「0」が消えないように入力する
- ・指定した条件での編集を自動で通知する
- ・1つのセルで列全体の処理を自動化する
- ・自分の画面だけでフィルタ抽出して共同編集の事故を防ぐ
- ・スプレッドシートでABC分析をする
- ・「何もしてないのに壊れた」セルの内容を復元する

■本書は以下のような方におすすめです

- ・共有ファイルのデータが壊れるたびに、その修正作業に追われている方
- ・Excelとスプレッドシートの使い勝手の差や機能の違いに悩んでいる方
- ・スプレッドシートを手放して運用できるルールを作りたい方
- ・自分の業務を効率化し、スマートなデータ管理を行いたいビジネスパーソン

■紙面イメージ

自分の画面だけでフィルタ抽出して 共同編集の事故を防ぐ

フィルタ表示

「フィルタ表示」を作成して条件を保存する

共同編集中に通常の「フィルタ」機能を使ってデータを抽出すると、その結果はシートを見ている全員の画面にリアルタイムで反映されます。

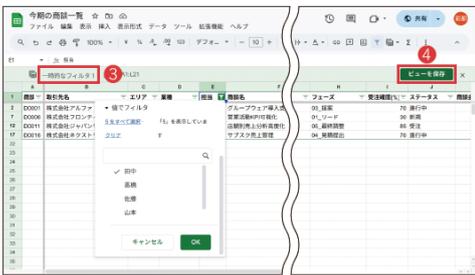
例えば、「担当者」列で自分の名前だけを抽出すると、同時に作業している他の人の画面でも他のデータが消えてしまいます。これでは、他の人が入力しようとしていた行が見えなくなるなど、作業の邪魔になりかねません。

自分だけに適用される「フィルタ表示」機能を使えば、他の人の画面には一切影響を与えずに、自由な条件で抽出や並べ替えを行います。

フィルタ表示を作成すると、そのとき適用しているフィルタ条件や並べ替えの状態を保存できます。「担当者:○○の未完了タスク」のように名前を付けて保存しておけば、次回からはメニューから選ぶだけで瞬時にその状態を再現できます。

ちなみに、設定メニューは「ビューのオプション」という名称になっています。これは、この機能がリリースされた直後は「フィルタビュー」という機能名だったため、その名残だと思われます。

フィルタ表示の画面で抽出条件や並べ替えを変更すると、その内容がフィルタの指定内容そのものを瞬時に上書きしてしまう点には注意が必要です。一時的に別の条件で見た場合でも、元のフィルタ表示の設定そのものが書き換わってしまうので、気を付けましょう。



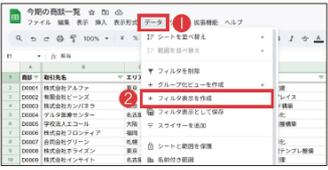
●【一時的なフィルタ】と表示され、自分の画面だけでフィルタが適用された状態になった。自分が抽出したいデータに絞り込んだ状態にしてから、●【ビューを保存】をクリック。

このビューに名前を付けますか？

●【名前を入力して】から●【保存】をクリック。



●【名前を入力して】から●【保存】をクリック。



●【名前を入力して】から●【保存】をクリック。

フィルタを設定したい表の中にアクティブセルを置いた状態で、●【データ】→●【フィルタ表示を作成】を順にクリック。

Googleスプレッドシートのノウハウを、本文と操作手順を交えて解説しています。

ウェブやドライブ上の画像をセルに表示する

IMAGE 関数

「画像」も並べ替え可能なデータとして扱う

商品リストに商品画像、社員名簿に顔写真など、シート内に画像を掲載したい場面はよくあります。しかし、画像をセルに直接貼り付けてしまうと、並べ替えをしたときに画像がずれてしまったり、ファイルサイズが重くなり動作が遅くなったりしがちです。

そこで活用したいのがIMAGE関数です。ウェブ上に公開されている画像や、ドライブ内の画像のURLを指定して、セルの中に画像を表示できます。

この方法なら、**画像は「セルの中の値」として扱われるため、並べ替えやフィルタ機能を使ってデータと一緒に正しく移動します。**画像を埋め込むわけではないため、ファイル自体も軽くなるメリットもあります。

IMAGE関数は、数式内にURLを直接記述するのではなく、URLが入力された別のセルを参照するように指定するのがおすすめです。参照元のセルのURLを書き換えるだけで、表示される画像も自動的に切り替わります。

No	カテゴリ	画像URL	画像挿入
1	Google 検索	https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/...	[Google logo]
2	Chrome	https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/...	[Chrome logo]
3	Gmail	https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/...	[Gmail logo]

●セルに「=IMAGE(D2)」のように入力すると、●セルD2に入力されたURL先の画像がセル内に表示される。

106

イメージ
=IMAGE(画像URL,モード,高さ,幅)

[モード] は以下の数字で指定する。省略すると1になる。

1:縦横比を変えずに、セル内に収めて表示

2:縦横比を無視して、セル内いっぱい引き延ばす

3:画像の元サイズを維持し、セルからはみ出る部分をトリミング

4:[高さ]と[幅]の引数で指定したピクセルサイズにする

ドライブ上の画像を表示する

ドライブ内の画像を使う場合、画像の「共有リンク」をそのまま貼り付けてもIMAGE関数では表示されません。共有リンクは以下の構造になっていますが、これはあくまで「プレビュー画面」を開くためのURLとなっています。

[https://drive.google.com/file/d/\[ファイルID\]/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/[ファイルID]/view?usp=sharing)

関数が画像を直接読み込めるようにするには、以下のIMAGE関数用のURLの**[ファイルID]**を、**共有リンクから取得したファイルID**に書き換えて指定する必要があります。

[https://drive.google.com/uc?export=view&id=\[ファイルID\]](https://drive.google.com/uc?export=view&id=[ファイルID])



挿入したい画像が保存されているドライブを表示しておく。●[その他の操作] → ●[共有] → ●[リンクをコピー]を順にクリックすると、クリップボードに共有リンクがコピーされる。

107

スプレッドシート関数に関連するワザでは、引数の指定方法も解説しています。

■すぐに試せるサンプルファイルを提供

本書の解説で使用しているスプレッドシートのサンプルファイルを提供します。実際に操作を試したり、関数の動作を確認したりする用途でお使いいただけます。

■本書の構成

- 第1章 ファイルの作成と共有
- 第2章 データの入力と整理
- 第3章 効率化のための関数の応用
- 第4章 分かりやすい資料の作成
- 第5章 共有時の設定と運用改善

■書誌情報



書名：Google スプレッドシート踏み込み活用術（できるビジネス）

著者：武田雅人、山縣清司

発売日：2026年2月27日（金）

ページ数：192 ページ

サイズ：A5 正寸

定価：1,793 円（本体 1,630 円＋税 10%）

電子版価格：1,793 円（本体 1,630 円＋税 10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02323-4

◇Amazon の書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/429502323X>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1125101093>

◇書影（高解像度）ダウンロード：<https://dekiru.net/press/502323.jpg>

■著者プロフィール

武田 雅人（たけだ まさと）

株式会社 Tekuru 代表取締役

北海道留萌市出身。趣味はボウリング・書道。会社員時代に Google Workspace（旧 Google Apps）／Salesforce の自社導入を担当したことを機に、活用成功のナレッジ発信を開始。自社で使用しているすべてのシステムの活用度日本一を目指している。GWS ユーザー会主催の活用コンテストで連続受賞（2017年-2022年）、Agentforce Hackathon Tokyo 2025 優勝など受賞歴多数。

山縣 清司（やまがた きよし）

株式会社 Tekuru

北海道帯広市出身。身体を動かすことが好きで、マラソンやトライアスロンの競技大会に挑戦。社内情報システム・インフラ部門でのキャリアを重ね、Outlook→Gmail、ファイルサーバー→Google ドライブへの移行など、Google Workspace の導入・移行を多く主導。現在は Microsoft 365 との共存運用や、利用者支援、FAQ の整備を通して現場を支えている。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。